

## **新型スロープのホーム側端部の角度は「不具合ではない」「現時点で改良しない!!」**

## **新型スロープは「安全上問題ない」という無責任な回答に対する申し入れの回答**

昨年12月22日、「申」第6号（「新幹線ホームの新型車いす用スロープの不具合改善」に関する申し入れ）に対する回答がありました。

新型スロープは、昨年6月に新幹線各駅にN700系に対応できるように配備されました。しかし、新型スロープは、ホーム側端部に角度があるため車いすが乗車する際に引っ掛かり、車いすが前のめりに転倒する恐れがあります。

8月11日、新型スロープの不具合改善に向けて申し入れを行いました。10月19日、申し入れに対する回答がありました。しかし、回答は「現在導入している渡り板に安全上の問題はない」という車いすのお客様の安全確保を放棄する無責任極まりないものでした。

10月30日、「現在導入している渡り板に安全上の問題ない」という無責任な回答に対して申し入れを行い、12月22日に回答がありました。

### **車いすのお客様の安全を第一に考えて早急に改良すべきだ！**

会社は新型スロープのホーム側端部に角度があることは認めました。しかし「スロープの耐久性を高め安全性をさらに向上させるべく必要な補強措置を施したため厚みが増したものであり不具合とは考えていない」という回答でした。

また「ホーム側端部の改良は検討項目に上がっているが、現時点で変更する予定はない」という回答でした。

会社は新型スロープのホーム側端部の角度は認めつつも、スロープの耐久性、安全性のためであり不具合とは考えていないと断言しました。さらに、現時点において改良する予定もないことがわかりました。

会社の無責任な姿勢は何ら変わっていません！車いすのお客様の安全を第一に考えるのなら、早急に新型スロープのホーム側端部の角度解消に向けた改良をすべきです。